



第72回自由民主党 岩手県連定期大会開催



3月24日、盛岡市内のホテルにおいて平成最後の第72回自由民主党岩手県連定期大会を開催しました。党本部より加藤勝信総務会長にご臨席をいただき、参議院議員通常選挙及び政策面について幅広い観点からご挨拶を頂戴しました。議事では平成30年決算、平成31年運動方針(案)及び予算(案)、大会アピール(案)についてご承認をいただきました。最後は、本年執行される参議院議員通常選挙、県議会議員選挙の必勝を期してガンバローコールで締めくくりました。

「今年度の県連運営方針について」

幹事長 岩崎友一

本年は、夏の参議院議員通常選挙27年ぶりの勝利に向けて県連一丸となつて挑みます。秋の県議会議員選挙においても県議会第一会派の奪還に向け、空白区の解消・推薦候補予定者全員の当選に向けて全力で取り組みます。知事選挙では、本県のリーダーとしてふさわしい候補者の早期擁立に向け、全力を傾注してまいります。「令和元年」、自民党岩手県連が大きく飛躍する年となるよう、幹事長としての職責を果たしてまいります。本年も各市町村支部・職域支部の皆様には、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

「私の決意」 ③

「新しい時代に向かうふるさと岩手づくり」

岩手県議会議員 工藤 勝子 (遠野選挙区)



県は今後十カ年の総合計画の理念を「県民の幸福を守り育てる希望郷いわて」としていますが、震災からの復興が道半ばの中、本常に県民一人ひとりが幸福を実感できる政策が推進されていくのかを見極めていくことが重要です。その中で、人口減少対策や、岩手の人材が活躍できる環境づくりとして、産業振興、U・Iターンの促進、医療福祉介護の充実、女性活躍社会、児童虐待対策に取り組み、新しい時代を担う子ども達が力強く生きて行けるふるさとづくりを推進します。

「復興の先の発展を目指して」

岩手県議会議員 佐々木 宣和 (宮古選挙区)



東日本大震災津波から8年、平成28年台風第10号災害から2年半が経過しました。復興のリーディングプロジェクトである三陸道路は宮古以南が概ね完成しました。宮古室蘭のフェリー航路開設、釜石のガントリークレーン設置、三陸鉄道リアス線も開業しました。今後はこれらの大きな変化を産業振興、地域振興につなげるべく取り組んでまいります。人口減少、高齢化という大きな課題を抱える中で、地域の実情をきちんと県へ国へと届けるため、地域の課題を一つ一つ解決し前に進めるよう頑張つてまいります。

「自立・生きる・世界とつながる」

岩手県議会議員 白澤 勉 (紫波選挙区)



いよいよ新たな岩手県総合計画がスタートしました。5月には元号が「令和」に変わり新時代の幕が開けます。私は、岩手の新時代を「自立を育む」、「生きるを支える」、「世界とつながる」の3つの視点で取り組んでいきます。自立・自助の姿勢を育みながら、ILC誘致を実現し、岩手を世界の頭脳拠点エリアにします。そして、子育て・定住促進対策、自死対策や健康長寿社会の構築、防災、教育、産業振興等の施策を重層的に推進していきます。

岩手県議会議員選挙 公認決定

○北上選挙区【公認】



やすゆき
高橋 穩至 (57)
新・北上市議会議長

今年の8月30日告示、9月8日投票の、岩手県議会議員選挙に向け、県連選挙対策委員会役員会で、公認1名が決定されました。4/4現在公認14名・推薦1名が決定しております。

【注】氏名、年齢、当選回数、経歴